

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【 I, V 】
2 実施対象者	つくば市立荃崎中学校 全生徒204名、教職員8名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 (オリンピックによる器械運動の授業) ③ その他 () <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	元オリンピックによる授業を通して、楽しく基本技術を身に付ける資質や能力を養うことを目的とした。種目は学校体育で取り上げられる器械運動のマット運動、跳び箱運動の初歩的な内容について学ぶことを目標とした。その後の体育の授業では、オリンピック作成のリズム体操を準備運動として活用した。また、スポーツ庁の発行するオリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料を活用してオリンピック・パラリンピックの精神や歴史についても学習した。
5 取組内容	<p>1 元オリンピック田中光氏を招いての体育（器械運動）の授業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(1) 12月14日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2校時 1年生69名 マット運動、跳び箱運動の実技指導 ②3校時 2年生71名 マット運動、跳び箱運動の実技指導 ③4校時 3年生64名 マット運動、跳び箱運動の実技指導 <p>(2) 12月21日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2校時 1年生69名 マット運動、跳び箱運動の実技指導 ②3校時 2年生71名 マット運動、跳び箱運動の実技指導 ③4校時 3年生64名 マット運動、跳び箱運動の実技指導 <p>2 オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを学ぼう。</p> <p>(1) 1月11日(金) <1年2組>I'm POSSIBLE の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「パラリンピックって何だろう」 ②「パラリンピックスポーツについて学ぼう」

(2) 1月15日(月) <1年1組>

①「パラリンピックって何だろう」

②「パラリンピックスポーツについて学ぼう」



3 田中光氏作成のリズム体操を活用した体育の準備運動の実施



6 主な成果

- 元オリンピック田中光氏を招いての体育(器械運動)の授業
 - ・実技の見本も見せてくださったので、生徒たちからは歓声が上がった。
- オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを学ぼうについて
 - ・スポーツ庁から小学校に配付された教材(DVD, パネル)を使用して、オリンピック・パラリンピックについて理解を深めることができた。特に、パラリンピックの映像やパネルはとても分かりやすく理解できた。
- リズム体操について
 - ・生徒にとって取り組みやすいリズム体操で、十分な運動量も確保できた。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

- 元オリンピック田中光氏を招いての体育(器械運動)の授業
 - ・器械運動の授業として計画した。学年2クラス60名から70名の生徒数だったので、1時間ずつ十分な運動量を確保しながら体験できた。また、活動が中心だったので生徒も楽しく取り組めた。
- オリンピック・パラリンピックムーブメントを学ぼうについて
 - ・小中一貫校のため、小学校からスポーツ庁で作成した教材を借りてきたが、とても使いやすかった。
- 田中光氏作成のリズム体操を活用して体育の準備運動として実施した。

8 主な課題等

講師が、多忙のため、メールのやりとりで準備し指導にあたることになった。そのため、会場等のイメージが少し違っていたようだ。さらに時間が取れば、オリンピックの話が聞けたり、器械運動の技能が向上したりできたと思う。

9 来年度以降の実施予定

2年連続で実施校に選んでいただき、貴重な体験をすることができた。1年目は陸上競技、2年目は器械運動では、体験を通して理解を深めることができた。来年度は、パラリンピアンとの協力をお願いし、パラリンピック競技の体験をさせたい。また、来年の茨城国体のアーチェリーの会場が近くにあるので、実際に見学に行くことにしている。